

5年「心肺蘇生法講習会」

保健の授業の一環で心肺蘇生法講習会を行いました。

「もしも友達が突然倒れたらどうするのがよいか」をめあてに学習を進めました。救急車が到着するのに平均8分もかかること、それまでの時間第一発見者が命をつなぐ行動をすることが大切であることを学びました。

子供たちは実際に2分間胸骨圧迫をして、短い時間でも「強く、速く、絶え間なく」行なうことがとても大変だということを実感していました。

今回の学びを生かして、いざという時、命を守る行動が少しでもできるようにしてほしいです。

